

☆「終活」に関するお知らせ

超高齢社会における「終活」を理解するために、コピー版に続き、今般製本版の「多職種のためのしゅうかつ（終活）ガイダンス ～今をよりよく、自分らしく生きる～」と「元気なしゅうかつ（終活）マイ・ノート ～自分のために、周りのために～」（河内長野市版エンディングノート）を刊行する予定。

◎第2回 在宅サロン“ミニ”：11月8日（木）開催（於・河内長野市医師会館）。参加70名

「森田先生リターンズ！」として、前回に引き続き、監察医の森田沙斗武先生（大阪はびきの医療センター）から、「多職種連携も、死んだら終わりではありません」について講演。その中では、「孤独死」と「異状死」の問題が取り上げられ、対処法や対応策等が伝授されるとともに、多職種連携の重要性が強調された。最後に、専門職に対しては、①死んでいても慌てない、②腐っていたり血を流していたら警察へ通報を、③死んでいても人間（尊厳は忘れない）とのアドバイスがあった。

♡イベントの予告♡

① 認知症に関する医療・介護連携のための「多職種連携研修会」：来年1月19日（土）午後2時～

講演「認知症初期集中支援推進事業の経験から」（講師：辻 正純東淀川区医師会副会長）、グループワーク、成年後見制度の説明等を実施予定。 <於・ノバティホール（ノバティながの南館3階）>

☆上記に参加希望の場合は、必要事項（医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種）を書いて、地域連携室迄FAX（54-1567）にて要申込。

② 第1回「まちのれんけい室シンポジウム」：来年3月23日（土）午後2時～ <初開催>

各種発表、PRなどを企画中。詳細は次号で。 <於・ノバティホール（ノバティながの南館3階）>

□ ブルーカードシステムに関する藤井寺市医師会との懇談（中山幹昌事務局長） 第1回：11月6日

（火）（於・藤井寺市医師会館応接室）・第2回：11月21日（水）（於・河内長野市医師会地域連携室）

第1回：ブルーカードシステムの進捗状況、問題点・課題、更には運用上のコツ等について意見交換。藤井寺市では、現在「ブルーカード」の発行が約400件で、連携病院が1つ増えるなど好調。

第2回：ブルーカードシステムの問題点・課題、クラウドシステム等について意見交換など。

☆地域における「顔の見える」専門職の多職種連携の推進のために！！

(1) 「れんけいカフェ」（偶数月の第4水曜日）は、第15回を12月26日（水）に開催予定。参加自由。

(2) 「かわちながの主治医意見書連絡シート」は、要介護認定の申請時における「主治医意見書」作成の一助として、ケアマネジャー、訪問看護師はじめ医療介護福祉関係者（送付者）が、事前知っている情報や伝えたい事等を、本人・家族の同意の下、主治医である医師に連絡するツール。

□ 大阪府訪問看護ステーション協会研修会：11月9日（金）開催（於・SAYAKAホール大会議室）

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」をテーマに講演。特に、意思決定支援には、本人の「語り」（ナラティブ）の大事さが強調され、その「語り」に本当の気持ちがあるとされた。

□ 富田林保健所「難病医療療養ネットワーク協議会研修会」：11月10日（土）開催（於・南河内府民センター）

花田一志先生(近畿大学医学部精神神経科学)から、「高齢者、認知症患者をめぐる法的問題」について、示唆に富む講演があった。その中で、特に「成年後見制度」(概要・現状・課題等)が取り上げられたが、医師による法的な説明は珍しく、同制度の注目度・必要性がアップしているといえる。

□大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室活動報告会」:11月10日(土)開催(於・国民会館・天満橋)
11区の支援室から、入退院支援、急変時対応、行政との連携について実情報告があり、併せて「大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する医療施設等のアンケート調査」結果も報告された。その中で、専門職(個人的主観)としての連携度は、約6割が「できている・ややできている」との回答。

□あすか会研修会:11月10日(土)開催(於・スイスホテル南海大阪7階芙蓉)
宮崎理事から「地域包括ケアシステムにおける広域協力体制づくりに向けて」について講演。本会におけるブルーカードシステムの運用や成年後見制度等を含めた「終活」への取り組みなどの状況報告があった。いずれも広域的発展が見込まれる(広域で行っていった方がいい)取り組みとした。

□「大阪府医師会医学会総会」一般演題パネル展示:11月11日(日)開催(於・大阪府医師会館)
外山副会長から「河内長野市における地域ケア会議を活用した在宅医療・介護連携推進事業(その2)」について講演。目標・価値観・考え方を共有する“人と場”が大切と強調。前述のガイダンスやマイ・ノートはじめ、これまで発行の各種ツール(成果物として)を多数配布。

☆認知症の窓:認知症支援のことで相談等があれば、地域連携室迄TEL(54-1700)連絡を!

チーム員活動等:11月8日(木)西部<個別チーム員会議>、13日(火)西部<自宅訪問>、21日(水)西部<ミズノクリニック運動教室同行>。

◇河内長野市との懇談:11月15日(木)・28日(水)に保健福祉部担当者と諸施策の意見交換など。

☆第4回地域をみるみるコーナー:「阪和いづみ病院」~10月26日(金)

11月1日(木)オープン前の内覧会に参加。病床数は678床で、うち(a)認知症治療病棟240床、(b)急性期治療病棟(精神科)48床、(c)アルコール依存症治療病棟60床となっている。特に、(c)には女性専用病棟があり、木目細かい対応を目指している。<和泉市あゆみ野1-7-1>

☆【Topics】

○第7期河内長野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画書:平成30年度から3年間の計画の基本的な考え方、施策の展開等が列挙されている。うち、後者では、「地域ケア会議の推進」として、「れんけいカフェ」の取り組みが紹介され、地域課題の検討・分析や情報共有等を重層的に行えるよう取り組みを進める旨が書かれている。また、「在宅医療・介護連携の推進」として、本会が運用している「河内長野市ブルーカードシステム」の概要等が紹介され、更なる連携の強化が謳われている。なお、河内長野市の将来推計として、2025年には、総人口95,000人強、高齢化率37.7%(うち後期高齢者は60%強)、介護認定率24.0%、介護給付費は1.6倍(現在より)と予想されている。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>